

別記第1号様式(第7関係)

## 会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		豊島区子ども読書活動推進会議（第1回）
事務局（担当課）		文化商工部図書館課
開 催 日 時		令和3年6月14日（月） 10時00分～11時00分
開 催 場 所		中央図書館（ライズアリーナビル4階）
議 題		<p>議題1. 豊島区子ども読書活動推進会議部会の設置について</p> <p>2. 第三次計画の取組成果について</p> <p>3. 第四次計画策定に向けた現状と課題について</p> <p>4. 第四次計画の骨子（案）について</p> <p>5. 今後のスケジュールについて</p> <p>6. その他</p>
公開の 可否	会 議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 0人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 行政機関における政策意思決定過程の途上に位置づけられる会議 であるため
	会 議 録	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 行政機関における政策意思決定過程の途上に位置づけられる会議 であるため

出席者	委 員	会 長	小池 章一	文化商工部長
		副会長	兒玉 辰哉	教育委員会事務局教育部長
		会 員	活田 啓文	区民部地域区民ひろば課長
		〃	小澤 さおり	子ども家庭部子ども若者課長
		〃	小野 義夫	教育委員会事務局教育部放課後対 策課長
		〃	佐藤 明子	教育委員会事務局教育部指導課長
		〃	佐藤 洋士	池袋本町小学校長
		〃	山本 聖志	明豊中学校長
		〃	倉本 彩子	文化商工部図書館課長
	事 務 局	図書館課	坂本 恵	計画係長
			新里 江美	計画グループ主任

## (開会)

会長： 第三次豊島区子ども読書活動推進計画は平成28年度から32年度であり、昨年度改定を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で延期した。その間、コロナ感染拡大による生活環境の変化とともに、子どもの読書を取りまく環境も変化している。また、豊島区は、SDGs未来都市に選ばれ、取組中であるので、誰一人取り残さない読書環境整備を行っていく必要があると考えている。会員の協力を得ながら、計画改定に取り組んでまいりたい。

### 議題1 豊島区子ども読書活動推進会議部会の設置について

(事務局より、資料1-9、1-10を説明)

会長： 豊島区子ども読書活動推進会議設置要綱に基づき、下部組織として部会を設置したいが、いかがか。

(異議なし)

会長： 部会の設置について、決定とする。

### 議題2 第三次計画の取組成果について

(事務局より、資料1-1、1-2を説明)

会長： 学校図書館の貸出冊数が計画目標を大幅に上回っていることについてどういうことが考えられるか。

事務局：第三次計画の途中で学校図書館の学校司書の配置が完了した影響と考える。

E会員：学校司書の配置という要因もあると思うが、それだけでなく、学校においても、学校図書室を利用しようという声掛けがうまくいっているということが大きい。

H会員：豊島区の場合には、学校司書と学校の連携がうまくいっている。学校司書が上手に本を紹介するポップを作ったり、テーマごとの本の配置を考えたりと、使いたくなるような図書室づくりができています。

G会員：私はこの4月に区立学校に着任したばかりではあるが、そのような雰囲気を感じている。

### 議題3 第四次計画策定に向けた現状と課題について

(事務局より、資料1-3、1-4、1-5を説明)

会長： 中高生の不読率が改善されていないこと、東京都の第四次計画に沿って計画を進めていくことについてご意見をいただきたい。

E会員：中高生は非常に忙しい時間を過ごしている。ただ、その中でも読書には意味があるので、不読率の改善に取り組んでいかないといけない。また、一人ひとりの実態に応じて読書の方法も大きく変化していくと感じている。一人一台タブレットが配付され、子どもたちがICTに触れ、デジタル時代の中でどうやって文字に向き合っていくのか見ていかないといけない。色々なタイプの子どもがいる中で、一概に貸出冊数を測定し、読むスピードを問うのではなく、一冊の本にじっくり向き合うという読書スタイルの子もいるということも念頭に置く必要がある。東京都の第四次計画に沿っていくことについては、東京都と比較しながら、子どもたちの実態を把握していくことができる。また、他地区から異動してきた教員も、東京都と数値を合わせることで、学校の現状を東京都と比較し把握することができるので、読書活動をより推進していくには、東京都の計画に沿って策定することはよいと考える。また、子どもたちの読書時間は学校の時間だけでなく、家庭、放課後、様々な時間が予想される。学校、図書館、区の諸機関、家庭、地域との連携が必要。都の計画でも関係部署との連携が必須となっているため、第四次の計画を改定する際には、都の計画を踏まえていただきたい。

会長： 会員の意見を取り入れ、東京都の第四次計画を踏まえた計画を進めていくということではよろしいか。

(異議なし)

#### 議題4 第四次計画の骨子(案)について

##### (第四次計画の骨子(案)について)

(事務局より、資料1-6を説明)

会長： 豊島区が目指す子どもの姿について、部会で検討し、第二回の豊島区子ども読書活動推進会議に提示したいと考えているとのことだが、皆様よろしいか。

(異議なし)

会長： 各課の関連計画にも関わる内容のため、部会での検討にあたって、所管の会員からご意見をいただきたい。

C会員：子どもの参画、子どもの意見を取り入れてほしい。

G会員：学校だけでなく、家庭、地域との連携が必要だが、時代の変化に伴い、家庭のあり方も変化している。その点も考慮しながら計画を改定する必要がある。目指す子ども像は、子どもの発達段階に応じて違ってくる。各部会員に意見を聞き、統合し、位置づけてほしい。

I 会員：本日欠席のB会員から意見を預かっている。

豊島区生涯学習推進ビジョンでは、様々な情報を選択し、自ら考え、行動する個人の学びを深めるとともに、人と協力し、学びあいのネットワークを広げていくことが重要であるとしている。「読書の幅の拡大」「読書に主体的にかかわる態度の育成」を子ども読書活動推進計画の目標に掲げることにより、本を通して知的好奇心を広げ、本をもとに意見を表明し、学び合い、そしてそれが自分の生き方や自分たちの住むまちをより良いものに変えていける力が生み出される。子どもたちの読書活動が、「よりよい生き方、よりよいまちづくり」につながるような視点で検討をして欲しい、とのこと。

副会長：読書環境の整備について、議会でもご意見があるように、電子図書館の整備を進めてほしい。子どもたちのタブレットを有効に使えるとよい。

I 会員：電子図書館は、著作権等の関係で子ども向けの本が少ない。しかし、中高生の不読率ということであれば、年齢が上がるため、取り扱う電子図書も多くなる。現在は指定管理の自主事業だが、事業者に働きかけていくことはできる。今後、区として電子図書を導入するのかという検討や、今あるものをどう生かしていくかという検討も行っていく。

#### (第四次計画の事業について)

(事務局より、資料1-7を説明)

会長： 目指す子どもの姿を実現するために、計画事業が必要と考える。こちらも部会で検討し、第二回会議で提示したいと考えるが、いかがか。

(異議なし)

会長： 部会での検討にあたり、関連施設の会員から意見をいただきたい。

A 会員： 区民ひろばでの主な対象者は未就学児とその親、小学校低学年の児童。区民ひろばの蔵書の増加も検討していくことが必要。加えて、地域図書館との連携も必要と考えている。

D 会員： 放課後の子どもたちの活動の一つが読書。子どもの主体性を大切にし、子どもの意見を取り入れた本を購入している。しかし、大人が様々な分野の良質な本に触れさせてあげることも大切。例えばスキップでは、図書ネット便を活用している。子どもが普段触れないが重要な分野の本も取り混ぜてほしい。もう一つ、日本語を母国語としない子どもにも読書の機会を与えていかなければならない。そこも検討してほしい。

H会員：子どもたちの読書活動の環境を整えていただいているのはありがたい。しかし、家庭での読書環境が良くなっているとは言い切れない。スマホの所有率が増加し、新聞を購読していない家庭が増えている。読書や新聞、活字に触れる機会が減ってきている。部会に下ろす際、子どもたちのスマホの利用状況も大事な指標になると考える。紙の書籍を手にとって、その良さを味わうことと電子の活用、この二つの矛盾しない有効なやり方を検討してほしい。図書館という本の海の中で色々な分野の本に触れられるのは貴重な体験であり、地域の図書館を利用しているか、ということも指標としてよいのではないか。

また、膨大な達成目標・事業を指標としてしまうと、数字達成のための計画となってしまうので、部会の中で精査してほしい。

会長： 会員のご意見を踏まえて、現状に合った計画事業を検討していくこととする。その他に事務局から発言はあるか。

事務局：本日いただいたご意見をふまえ、計画の数値目標については、東京都の計画に沿って中高生の不読率の幅の減少と、豊島区独自の「読書が好き」の数値目標値を入れたいと考える。

会長： 事務局は、各会員から出た意見を参考に、部会での検討を行うように。

## 議題5 今後のスケジュールについて

(事務局より、今後のスケジュールについて説明)

会長： スケジュールに沿って関係部署と調整しながら計画改定をすすめて進めていくこととする。

## 議題6 その他

(事務局より、次回の推進会議・本日の議事録について説明)

会長： 以上をもって、第一回子ども読書活動推進会議を終了とする。

<p>会 議 の 結 果</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊島区子ども読書活動推進会議部会の設置について決定する</li> <li>2. 第三次計画の取組み成果について了承する</li> <li>3. 第四次東京都子供読書活動推進計画を踏まえ、第四次豊島区子ども読書活動推進計画改定を行う</li> <li>4. 豊島区が目指す子どもの姿について、部会で検討し、第二回会議に提示する 第四次計画の事業について、部会で検討し、第二回会議に提示する</li> <li>5. 今後のスケジュールについて了承する</li> <li>6. 第二回会議の開催日程について了承する</li> </ol>
<p>提出された資料等</p>	<p><b>【配付資料】</b></p> <p>次第</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1－1 第三次計画令和2年度各課推進状況</li> <li>1－2 第三次計画の取組成果について</li> <li>1－3 子ども読書活動推進計画策定の背景</li> <li>1－4 計画の背景となる社会状況と計画の課題</li> <li>1－5 豊島区読書活動に関する実態調査から浮かぶ課題</li> <li>1－6 豊島区子ども読書活動推進計画（第四次）の骨子（案）</li> <li>1－7 第1回豊島区子ども読書活動推進会議事前ワークシート取りまとめ</li> <li>1－8 子ども読書活動推進計画（第四次）・図書館基本計画策定スケジュール（案）</li> <li>1－9 豊島区子ども読書活動推進会議設置要綱</li> <li>1－10 令和3年度豊島区子ども読書活動推進会議委員名簿</li> </ol> <p><b>【参考資料】</b></p> <p>豊島区子ども読書活動推進計画（第四次）の策定について（概要） 第四次東京都子供読書活動推進計画について（概要） 第四次東京都子供読書活動推進計画</p>
<p>そ の 他</p>	<p>なし</p>